

# 吟道月報

No.28

49.11.5

## 碩心会

に名前も知りませんでした。

速刻、飲養と健康増進の爲と云ふ  
キマツチフレスで愛好者集るの

### 吟甫(念)支部の生いたち

支部長 大屋 鉄泉

何処からともなく李白の作である静夜思を吟ずる声  
が聞えて来る五言絶句の最初の節のさげが、むすかし  
いらしく、幾度か繰返してました。

横須賀の米海軍補給部では丁地区の倉庫が一番大き  
く、裏手が高い崖で乗用車の置き場になっていて此処  
が独り吟ずるには恰好の場所になっています。

昭和四十七年秋の事です。いち早くこの吟を耳にさ  
れたのが現在師範として居られる沼田光風先生でした  
二人は書きぬ話をして貰っている採でした。

岳風会であり碩心会と横須賀支部に所属している事や  
セクシヨクと違うが近くに恥場がありながら、お互

回覧が廻った事は、言うまでもありません、類をもつて  
集るのたよえ通り、すぐに九名の希望者が集り、中に平  
野豊風(当時豊山)も加わり吟甫会が誕生しました。

趣味を同じくする人の集りを晝休又は仕事の疲れした  
れて活気に満ちた練習風景です。

元来発声するものは重達、学校唱歌から小唄、民謡に  
至るまで好きですが、年数と共に昇段して許證を得られ  
る楽しみがあります。後に公言の中から趣味と恥場の切  
り離して考えようと言ふ事から補給部の「浦」から(不)  
偏を抜いて「甫」を使い、吟甫会と名付け現在に至りまし  
た。今年で誕生二周年を迎えました。残念な事に、此の  
間に白血病で一名の会員を失った事です。

御褒福を祈りながら筆を置かせて頂きます。

## 銀詠（銀座吟詠会）

### 支部の歩み

東（旧住 一柳）拜手白水

日一日と深まりゆく秋の候、碩心会各支部の皆林に  
は、いかがお遊していらっしゃるでしょうか。

さて私共銀詠支部は、昭和四十八年二月発足以来一  
年と九ヶ月を迎えました。その間半年毎の早稲番査に  
は千葉劍風、香風御夫妻の良き御指導を持ちまして、  
十二名の会員は常に揃って合格、現在初任とならせて  
頂きました。

会員が南右衛門の店主を主体ということで、なかく  
全員揃って練習と言う訳にも参りませんが、

詩吟の敵場多しと言えども、御夫妻を先生としてお  
迎えしている所は、少ないのではないかと思いますのが、  
自慢とも矧みともなり十名の男性会員は千葉劍風先生  
を目標し、二名の女性は、これ負けじと興林の香風先

生を目標して頑張る今日に至った次第です。

まだまだ奥深い吟道のほんの入口にいる私達ですが  
諸先輩の皆林に追いつけ追い越せの意気込みで、禮美な足  
取りを持って進んで参り度いと思つて居ります。

毎週金曜日夜八時半より銀座街南右衛門会議室に於いて  
練習を重ねて居ります。碩心会の皆林、時にはお互参り  
下さりまして、御指導、御批評頂けたらと存じます。

北では雪の便りも聞かれ日毎に寒さに向つて参ります  
皆林もどうぞ風和など召しませぬよう、お健やかに過ご  
して下さいませ。

## 葉警支部の歩み

### （葉山警察署吟道部）

支部長 熊田 道白水

隆々發展の碩心会の中にあつて、またほんの幼な子に  
過ぎないわが葉警支部の歩みなど、おこがましい限りで  
はございますが、温情溢れる三井先生の強いてのお言葉

に抗しがたく、まことに憤懣ではございますが、ここに紹介させていただくことになりました。

当支部はその出生において中々の難産でございました。生みの親として深い恩恵にあづかりましたのは佐久阿波山氏でございます。

いまから数えて二年程前になります。一日、氏と親しくお話し申し上げる機会を得ました。折、たまたま吟道のことにおよびました。

「朧業柄、若い人達の情操を高め志気を鼓舞する上で詩吟は必ずや適しているものと信ずる。ぜひ愛好者を募つてはじめて下さい」

このおすすめさうけました。それから畧内に掲示したり、個々に折衝を重ねるうちに約四ヶ月を費やしました。「私は音痴だから」詩吟はむづかしいから」と言つてはじめから拒否反応を示す者、「やりたいがひまがなくて」「民謡ならなんとかやれるが詩吟はどうも」などと二の足を踏む者など、種々雑多な声を各個

要破しながら、とうやう十名ほどの賛同者があつたので、昭和四年二月二十四日土曜日の午後でございましたが、や一回の指導会を当會の講堂で開催する運びになりました。

このとき、育ての親とも仰ぐ、坪谷高山、鈴木埜山両先生がお見えになり熱心なご指導を賜りました。

こうして業警吟道部がようやくこの世に呱呱の声をあげたわけですが、ほんの二、三の者を除いては、私なども含め、なんとも訳のわからない奇声、珍音の続出でございまして、当時の西先生の苦心にも似たお気持ちをお察し申しあげ、冷汗三斗の思いをいたしておりますが、不肖の子ほど可愛いと申しますが、よくもよくもお見捨てもなく慈母のごとき温かい愛情と手とり足とりのお導びぎのおかげに加えて、三井先生の折に触れてのご薫陶の賜によりまして、この年の五月、業警支部として碩心会の一員に加えていただくことになりました。このとき、わが支部の会員数は九名でございました。

しかしながら、わたしたちの職場の宿命と申しましようか。短期間のうちに数勤を命ぜられる者も相次ぎ、また、自信を失なうて退会する者などもありまして現在の会員数は、わづかに五名となつてしまいました。こんな小人数の吟道部でも頑心会の支部の名を汚していいものでしょうか。まことにおはづかしい限りではございますが、頑心会の永い伝統と名譽を傷つけないよう、精一杯頑張つております。

ようやく近頃、ヨチヨチ歩きができるようになりました当支部ではございますが、鈴木空山先生というよき指導者を得ております。このしあわせに報いるためにも一歩精進さかさねると共に、吟道界の隆盛をねがい、今後とも支部会員の獲得を目指し立派に成長した姿を頑心会の皆杯にお目にかけたいものと夢を託しておりますので、まだまだ海のものとも、山のものともわからぬ、わたしたち支部ですが多くの先輩諸兄のおいづくしみを賜りますようお願い申しあげます。

なお、未筆ではありませんが、せつかくわたしたちごへまでお育てくださいました中谷尚山先生が健康をこなわれ、最近殆んどお寝も、お目受けしませし、力のこもつた名吟をお聞きすることもなくなり、本当に心細しく思つております。

一日も早くご本復の上、わが吟道部のためお力添えをいただくよう心からお祈り申しあげております。

拙筆御答捨て下さい。

## 頑心会 本部関係

- ◎ 逗子市ヤ二十四回文化祭の詩吟詩舞発表会は十月十七日(日)図書館ホールで開催されました。出吟数一〇八題、内詩舞剣舞君台立体吟九題を含む極めて盛大で、頑心会から逗子地区の40名が参加しました。

- ◎ 葉山町文化祭詩吟詩舞の会は十一月三日葉山福祉会館で開催。出吟数百二十四題、詩舞、立体吟を含む盛

⑨ 支部のオニ、オニ三枚場のある場合、会計が別途会計の場合、名簿所屬の下にABCをつけて區別します。本部費や出陣割当の便を計りたいと思います。現状では大船(A)、大船(B)、大船(C)と、這子(A)、這子(B)となります。

### 納吟会

いよいよ今年も残り少なくなりました。各支部の納吟会も概ね十二月十日から二十日頃までになる様に計画して、日取決定次第総務まで御一報下さい。

### 初吟会

一月十二日(日)本を通り、這子ビーチセンターで舟くへく計画を進めています。詳細は別途お知らせしますが、前回以上(百七十名以上)の多数の御出席を願います。

### 松井岳洋先生愛吟集

松井岳洋先生愛吟集のオ四葉、別途各支部宛に詳細お知らせしておりますが、希望の方、至急申込下さい。

### 声の櫛

或夜酒席で彼は益にお酒を注ぎながら言った、「大御になってはいけないうよ。その赤い鼻はへし折らなごやう上達しないよ」。一瞬「うう」はうって何言ってるんや」と思った。

湯路彼の言葉が耳の底にいつまでも残っていました。靜かに考えて見ると今までの吟は只自己満足だけで、人が聞いた時には只大声をはりあげているにすぎず味もなければ、人の心を打つ吟でなかつたことぞ大いに反省させられました。

此の言葉は、本当の同志ぶなければ言えない言葉だ。つくづくうれしく思いました。今後もありきたりのおた

事はやめて、おはり悪い処は言つて下さい。大いに反省の材料とし人の心を打つ吟が吟じられる様、お互いに努力しましょう。本当にありがとうございました。

桜山支部 M生

### 会員の異動

#### 支部移籍

|           |         |        |
|-----------|---------|--------|
| 7 小林 三千子  | 葉狩より、   | 淀子(ハ)え |
| 66 田中 小み  | 〃       | 淀子(ハ)え |
| 67 臼井 照子  | 〃       | 淀子(ハ)え |
| 68 石塚 すま子 | 〃       | 淀子(ハ)え |
| 69 藤田 のり子 | 〃       | 淀子(ハ)え |
| 277 小林 幸代 | 〃       | 大船(シ)え |
| 278 高橋 清  | 淀子(ハ)より | 淀子(ハ)え |

#### 退会々員

沼田支部、小林 浩二

#### 新入会員

|               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| 淀子(ハ) 平山 梅    | 淀子市久木6の6の19矢野才<br>電(71)七八八八 |
| 大船(ハ) 高橋 さよ   | 戸塚区岡津町一ニ八一                  |
| 大船(ハ) 久保田 すま子 | 戸塚区岡津町一ニ八一                  |
| 沼田 武藤 喜市      | 淀子市淀子2の7の3<br>電(71)四九五〇     |
| 下山口 鈴木 キミ     | 葉山町下山口一七四七<br>電(75)一、二六三    |
| 下山口 新倉すみ子     | 横須賀市秋谷五三三五                  |
| 堀内 小林 末吉      | 横須賀市田邊尾町二の九<br>電(74)三四〇八    |
| 諏訪 高橋 まつ      | 葉山町長柄二三四                    |
| 諏訪 青木 光子      | 葉山町長柄二七二<br>電(75)二、一五七      |

諏訪支部長 井沢 朝風(兼)  
改姓のお知らせ

- 170 高橋 章……上村 章と
- 239 一柳 昌子……東 昌子と